

ベストスタッフ・オブ・ザ・イヤー表彰

当院では毎月、ベストスタッフ・オブ・ザ・イヤーの表彰を行っています。各所属で活躍したスタッフを推薦し、表彰します。今月は4名のスタッフが表彰されました。2月7日(水)に開催された合同朝礼において、理事長より、賞状と副賞授与を行いました。

部門	職種	氏名
チーム活動部門	看護師	田中美香
実践部門	事務	中村稚香子
実践部門	外来クラーク	山西弥生
マネジメント部門	理学療法士	長屋太直



※1名業務の都合上、表彰式に欠席

まつなみ Information

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

引き続き、多大なご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。各お知らせの詳細は、右のQRコードよりご確認ください。

面会制限、
夜間施錠について



発熱症状で
受診される方へ
[来院前にご確認ください]



笠松総合病院柔道部のご案内

笠松中央公民館にて、下記の日程で練習会を行っております。経験者はもちろん、柔道未経験の方でも基本からお教えしますので、ご家族・ご友人などお誘いあわせのうえ、柔道場へお越しください。見学だけでも大歓迎です。

日 時 毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です)
17時45分～19時00分

場 所 笠松中央公民館
1階 多目的室 柔道場

連絡先 058-388-0111(内線 51668)
松波総合病院 柔道部監督 松井
※参加される方は、事前にご連絡ください。

ドウジョウあそびのご案内

松波総合病院柔道部では「武道」×「医療」×「スポーツ」を柔道場で楽しく身体を動かし、子どもたちの身体能力の発達を促し、大人も子どももワクワクできる「ドウジョウあそび」を開催しています。詳細は右記のQRコードよりご確認ください。



新型コロナウイルス感染症に関する支援のご報告

このたび、当院へ温かいご支援をいただきました。厚く御礼を申しあげます。ご寄贈の品は当院で大切に使用します。

氏名・企業名	ご支援いただいたもの
株式会社 建築家・桜 様	大人用マスク650枚、子供用マスク455枚



※QRコードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。

T501-6062

岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL:058-388-0111(代)

FAX:058-388-4711

<https://www.matsunami-hsp.or.jp>



駐車場のご案内

3月11日開始の敷地内工事に伴い、ご利用いただける患者駐車場に一部変更がございます。最新情報は病院ホームページをご確認ください。ご不便をおかけいたしますが、ご協力ををお願いいたします。



心疾患の方向けの運動療法 体力と不安・抑うつ状態を改善

外来心臓リハビリテーション開始

心臓が悪いと運動は控えたほうがいいと考える方が多くいるかと思いますが、適切な運動をすれば体力の回復、病気の予防につながるといわれています。当院では2024年1月より「外来心臓リハビリテーション（以下、心臓リハビリ）」を開始しました。心臓リハビリでは一人一人の状況に応じて、適切な運動療法を行い、体力と自信を回復させ、再発予防を目指します。



対象となる症状

- ・狭心症
- ・急性心筋梗塞
- ・開心術後（冠動脈バイパス術・弁膜症手術など）
- ・慢性心不全
- ・末梢動脈閉塞性疾患
- ・大血管疾患術後（大動脈瘤・大動脈解離など）



心臓リハビリで得られる効果

- ・体力や心肺機能の向上
- ・生活の質の改善
- ・動脈硬化危険因子の改善
- ・ストレス解消



心臓リハビリを行った場合、行わなかった場合と比べて、心臓死、心筋梗塞、再入院が減少したという報告があります。また、日常生活での不安や抑うつが軽減して、身体的・精神的な生活の質（QOL）の向上も得られます。

運動療法の様子

まずは椅子に座って行うストレッチ体操など準備体操をしてから、有酸素運動をします。最初は軽いウォーキングや自転車こぎから開始し、徐々に時速やペダルの重さなど負荷を上げていきます。理学療法士がサポートし、心拍数や血圧などの反応を確認しながら、安全に運動をします。



心肺機能運動負荷試験(CPX)

心電図、血圧、呼気ガスを測定しながら自転車をこぐことで、心臓・肺・運動に使われる筋肉の状態を総合的に評価する検査です。心臓が悪い方でも長時間安全に続けられる運動の強さがわかります。



次ページ「能登半島地震支援活動」特集

令和6年能登半島地震 支援活動について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により被害に遭われた多くの皆さまおよびそのご家族、関係者の皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

当院では、1月2日より厚生労働省医政局DMAT事務局からの要請を受け、災害派遣医療チームDMATの一員として、医師1名、看護師3名、業務調整員1名（臨床工学技士）の計5名を派遣しました。

また、今回の能登半島地震の災害支援として、「AMAT(全日本病院医療支援班)*¹」や、被災地の公衆衛生の回復、地域医療再生を目的とする「JMAT(日本医師会災害医療チーム)*²」での活動も行いました。

*1全日本病院協会管轄 *2日本医師会管轄



災害派遣医療チーム『DMAT』とは

主に医師、看護師、業務調整員で構成される専門的な訓練を受けた医療チームを指します。災害派遣医療チームDisaster Medical Assistance Teamの頭文字をとって「DMAT（ディーマット）」と呼ばれています。大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場に急性期から活動できる高い機動性があります。また当院はDMATチームを有する病院です。

そのほか、これまでに熊本地震(2016年)や西日本豪雨(2018年)、令和元年房総半島台風(2019年)では医療チームを派遣し、災害現場の最前線で多くの医療支援活動を行っています。



熊本地震の出発式の様子▶

災害派遣医療チーム「DMAT」 (Disaster Medical Assistance Team)

1月2日～1月5日 DMAT活動内容

出発日

地震発生の翌日、1月2日の15時ごろ、救急車とワゴン車の2台で当院を出発し、現地のDMAT参集拠点本部となっている公立能登総合病院（石川県七尾市）に向かいました。病院に到着した時刻は20時ごろでした。



活動日

当初は2日に活動先の市立輪島病院に入る予定でしたが、道路が寸断しており断念。翌日の3日に輪島市に入りました。輪島病院では病院災害対策本部の運営（患者やスタッフの状況、支援物資の備蓄状況など取りまとめ）、救急車による患者搬送など支援活動を行いました。断水の影響で医療に必要な水が不足する中での活動でした。高齢者を中心とした脱水症状で搬送される患者さんが多く、また現地で働く医療スタッフもトイレを我慢し、交代なしで働くなど危険な状態でした。



当法人では様々な支援活動を行っています

当法人は「NPO法人Vネット」へ10万円の寄附をしました。「NPO法人Vネット」では被災地での支援活動を行っており、寄附したお金は洗濯機の購入費用となり、被災地で使用されています。また、募金活動も行っており、各館受付にて募金箱を設置しています。皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いいたします。



松波総合病院 Instagramのご紹介

2月以降も当院では支援活動を続けています。
最新の活動はSNSにてご確認いただけます。



能登半島地震 1月の災害支援活動一覧

期間	活動	対応スタッフ
1月2日～1月5日	DMAT 市立輪島病院にて活動 ・病院災害対策本部立ち上げ支援・患者搬送	医師1名、看護師3名、業務調整員1名（臨床工学技士）
1月5日～1月9日	AMAT 市立輪島病院にて活動 ・診療支援	医師1名、看護師1名、業務調整員1名（事務）
1月5日～1月6日	恵寿総合病院より要請依頼 ・支援物資搬送 3,600食分	事務2名
1月22日～1月26日	JMAT ふれあい健康センターにて活動 (輪島市避難所) ・救護所支援・医師会と1.5次避難所との連携補助	医師1名、看護師1名、業務調整員2名（事務、臨床工学技士）

期間	活動	対応スタッフ
1月23日～1月27日	日本薬剤師会・岐阜県薬剤師会より派遺依頼	薬剤師1名
1月25日	VPO 法人 V ネットに 10 万円寄附 寄附したお金は洗濯機の購入費用となり、被災地で使用されています。	
1月27日～1月30日	JMAT 門前避難所にて活動 ・救護所支援	医師1名、看護師2名、薬剤師1名
1月27日	恵寿総合病院より要請依頼 ・支援物資搬送 オムツ4箱、羽島ダンゴ100本、義援金（50万円）	病院長、事務1名
1月28日～1月30日	日本介護支援専門員協会・笠松町より派遺依頼 ・救護所支援・医師会の連携補助	ケアマネジャー（介護支援専門医）1名